

人に優しい福祉機器の開発  
(中間評価)

質問

回答

E委員	実際の使い方等についての研究はどうなっていますか？	病院、リハビリセンター等と相談しています。どうしても個々によって異なりますのでオーダーメイドになってしまいます。そういった面でユーザーと接していくことで対応していきます。
	シーティングは考慮しているのですか？	重要と考えております。講習会、セミナー等で各地に周知をしている最中です。
C委員	同じコンセプトの商品があるのですか、また、あった場合の差別化はどうするのですか？	商品はオーダーメイドであり、そこで顧客のニーズを汲み上げることで差別化していると思います。例えば、木製車いすでは木の質感を求める人のためなど、そういったところで対応しております。  差別化の点では、車いすの前足がストレートに落ちているのでベッドに近づきやすい、木製なので生活空間に入っても違和感がない、などの特徴があります。
F委員	大分県の特産である竹を使った竹製車いすのように、岩手の地場技術を活かしたものづくり、たとえば漆塗りの技術などを使うなどの工夫が必要だと思えます。	
B委員	オーダーメイドに十分対応できるような研究、開発技術の確立ができれば良いと思うのですが。	そのとおりです。今後対応していきたいと思えます。
A委員	今までの販売実績はどうですか？	H13年度に1台試験販売しました。H14年は岩手木工センターで販売開始する予定です。
F委員	シャワーベッドの各生体解析の結果とヒーリングシャワー装置との関係性を教えてください。	従来のシャワーベッドで実証した血行促進効果はヒーリングシャワーでも同じでした。今後、バックデータとして活用できると思えます。